

# ひ素試験器 装置 A (グートツァイト改良法)

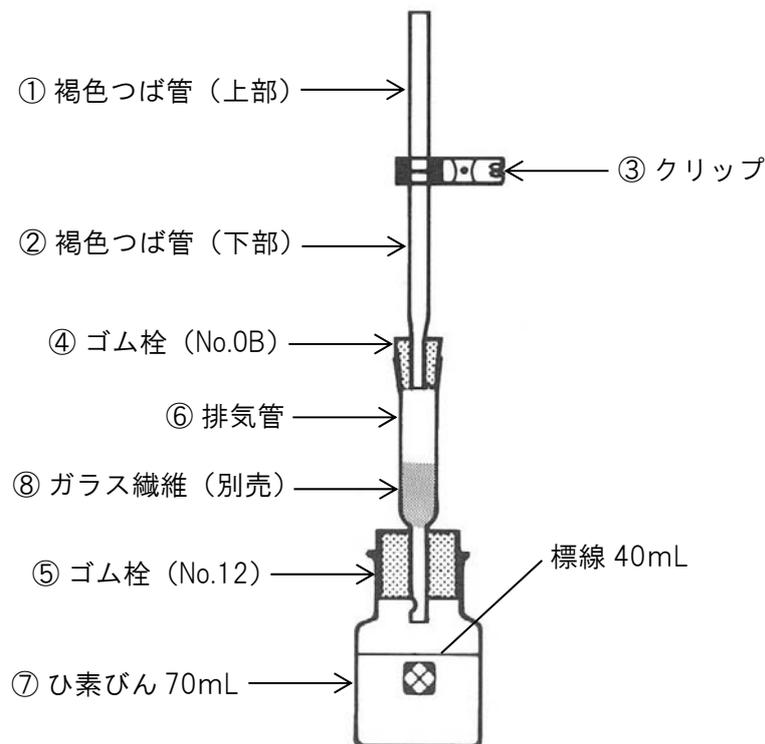
第 12 改正日本薬局方参考

## 取扱説明書

### ■概要

本装置は第 12 改正日本薬局方を参考にした Gutzeit 改良法のひ素及びひ素化合物の限度試験装置で、臭化第二水銀 ( $\text{HgBr}_2$ ) 紙の呈色を標準紙と比較して測定します。

### ■構成



### ■組立て及び準備

- (1) 開梱し、破損・欠品が無いことを確認してください。
- (2) 排気管⑥に約 30mm の高さになるようにガラス繊維⑧ (0.2g : 別売り) を詰めます。
- (3) 排気管⑥上部より酢酸鉛試液及び水の等容量の混液で均等に潤し、排気管⑥下部より静かに吸引して、ガラス繊維⑧及び排気管⑥壁面から適量の液を除いてください。
- (4) 装置を■構成 (図) のように組み立ててください。
- (5) 褐色つば管 (下部) ②の下端はゴム栓 (No.0B) ④の下端と同一平面となるように高さを合わせてください。
- (6) クリップ③を外し、褐色つば管(上部)①と褐色つば管(下部)②のスリ面に臭化第二水銀 ( $\text{HgBr}_2$ ) 紙をはさみ、クリップ③で固定します。
- (7) 以上で組立て及び準備完了です。

## ■試験方法

第 12 改正日本薬局方のヒ素試験法に準じて行ってください。

## ■参 考

◎臭化第二水銀紙の作り方

- ろ紙を 18mm×18mm に切り、臭化第二水銀  $\text{HgBr}_2$  5g をエチルアルコール(エタノール)で 100mL に溶かした溶液に浸します。1 時間以上暗所に置いた後、別のろ紙上に水平にのせて自然乾燥し、共栓褐色びんまたは褐色デシケータ等で保存してください。
- 呈色する部分には、手をふれないでください。
- 2 日以上乾燥状態にしたものは使用できません。

## ■仕 様

品目コード	063130-02
品 名	ひ素試験器 装置 A (ゲートツァイト改良法)
つば管径	内径 5.6 mm
装置寸法	約 $\phi 50 \times 285$ (H) mm

## ■スペアパーツ

品目コード	品 名
047420-12A	ジョイントクランプボール 12 用クリップ 10 コ入
063130-0401A	ひ素用ゴム栓 No.0B 6mm 穴付 5 コ入
063130-0402A	ひ素用ゴム栓 No.12 6mm 穴付 5 コ入
063130-032	ひ素試験器用 排気管
063130-031	ひ素試験器用 ひ素びん

18.04.13H (05)



SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.

**柴田科学株式会社**

本 社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62

東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-433-1207

大阪営業所 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎022-207-3750

名古屋営業所 ☎052-263-9310

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター (製品の技術的サポート専用)

☎0120-228-766 FAX: 048-933-1590

フリーダイヤル